

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

①総合計画 政策の柱		市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	②政策名 (基本施策名)	愛情豊かに子どもたちを育む	③取組の 基本方向	「愛情豊かに子どもたちを育む」ため、子どもの社会的な養育環境を整備するための「児童健全育成環境の充実」、すべての子育て家庭が安心して子どもを育てられる環境の整備を進めるための「子育て支援の充実」、ひとり親家庭等の自立と安定した生活を確保するための「ひとり親家庭等への支援充実」、子どもの人権を尊重するための「子どもへの虐待防止対策の強化」に、重点的に取り組みます。	④政策目標 (基本施策目標)	家庭、地域、事業者、行政等の十分な連携のもとで、市民が安心して子どもを生み育てています。
---------------	--	---------------------------	-----------------	---------------	--------------	--	-------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	児童健全育成環境の充実						① 施策の 達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)		
	児童が自主的・主体的に活動できる環境が整い、健やかに育っています。							H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標			
施策目標	児童が自主的・主体的に活動できる環境が整い、健やかに育っています。						① 達成状況	-----	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	-----		
施策を取巻く 環境	核家族化や地域社会の関係の希薄化などにより、子育ての環境が厳しさを増している。こうした中、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ地域社会を築くため、家庭、地域、事業者、行政等が連携し、安心して子どもを生み育てることのできる環境を創出することが重要になっている。							宮っ子ステーション事業の実施箇所数(箇所)	-----	6	16	26	36	51	5.9%	
②市民の 施策満足度	18.0%	④ 施策の 評価	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	●	概ね達成 (70%~90%未満)	説明	地域が主体となった事業として、青少年の居場所づくり事業は順調に実施されているが、宮っ子ステーション事業についてはさらなる推進が必要である。	⑤ 現状 課題の 抽出	子どもが被害者となる事件・事故の増加など、児童を取り巻く環境は厳しくなっており、親も子ども安心して遊べる場の確保など、家庭や地域の養育環境を充実していく必要がある。						
③市民の 施策重要度	63.3%		必要性 (住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい	説明	社会情勢の変化の中、児童を取り巻く養育環境の整備がもたらされている。								
			効率性 (事務事業の進捗)		十分である	●	不十分な事業が一部ある	説明								宮っ子ステーション事業についてはさらなる推進が必要である。
			有効性 (政策目標への効果)	●	十分である		やや不十分である	説明								宮っ子ステーション事業や青少年の居場所づくり事業など、事業を地域住民が運営することで、地域の中での児童育成環境の充実を図ることができる。
						達成していない (70%未満)	説明	宮っ子ステーション事業や青少年の居場所づくり事業など、事業を地域住民が運営することで、地域の中での児童育成環境の充実を図ることができる。						64.1%		

3 今後の取組方針

①取組の 考え方	地域の実情、ニーズ等に配慮しながら、子どもたちが安心して遊べる場を整備するとともに、子どもたちを地域全体で見守り、育てていくことについての理解の促進を図る。	➡	②政策評価 会議意見	児童が健やかに育つためには、遊びなどを通して健康増進や情操を豊かにすることが重要であり、また、異世代交流などを通して、人間性や社会性を養うことも重要である。これまで、地域における青少年の居場所づくりや宮っ子ステーション事業に取り組み、子どもたちを地域全体で見守り、育てていく環境づくりを推進してきたところである。青少年の居場所については、計画的に設置を進めてきているが、宮っ子ステーションについては整備が進んでいないことから、子どもの家事業との一体的な実施を目指し、計画的に事業を進めること。
-------------	--	---	---------------	--

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19 事業費 (千円)	H20 事業費 (千円)	優先度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値					
1	児童遊園事業費 担当課 子ども未来課	児童(小学生以下)	S55	あそぼの家事業開催数	40	40	3,145	3,271	A	継続	遊びを通して児童の健康増進と情操を豊かにすることは重要であることから、利用者のニーズの把握に努め運営体制に反映させる。
					40	46					
2	チビッコ広場整備費(単独) 担当課 子ども未来課	自治会等	S49	広場・遊具整備力所数	6	6	2,748	3,960	B	継続	子どもたちが安全に遊べる広場環境を整備するため、遊具による事故防止を目的とした点検活動を行う。
					6	11					
再掲	青少年の居場所づくり事業 担当課 子ども未来課	小学生、中学生、高校生	H15	地域における青少年の居場所設置数	15	25				継続	地域における青少年の居場所の設置は、異世代交流などを通して人間性や社会性を養う上で有効であるため、運営団体を広く募集し設置を促進する。
再掲	社会体験学習推進事業 担当課 学校教育課	宇都宮市立中学校2年生の生徒全員	H14	充実した体験をした生徒の割合	100.0	100.0				継続	充実した体験学習ができるよう、各種団体とのさらなる連携により受け入れ先事業所の確保に努める。
再掲	放課後子ども教室推進事業 担当課 生涯学習課	児童及び地域住民	H19	宮っ子ステーション実施校区数	3	6				継続	体験活動や異年齢交流は子どもの健全育成に重要であり、また、事業を地域住民が運営することで、地域の教育力の向上が図れるため、施策目標への貢献度は高い。今後についても子どもの家事業との一体的な実施を目指しながら、宮っ子ステーション事業としてさらに事業を推進していく。
					2	3					
				宮っ子ステーション実施日数	53	162					
施策事業費合計					81	346	5,893	7,231			